

令和6年度 念願の販売高10億円を突破！



安武部会長あいさつ



すいか部会は平成20年に統一部会となり、販売高10億円を目指してきました。施設整備に合った適正作型に取り組み、部会青年部を早くに発足させ、後継者育成にも力を入れ勉強会などを強化しました。高品質、収量の安定を図り、令和6年度(R6年春スイカ・秋スイカの販売実績)、ついにその念願を果たすことができました！

◆高齢化や資材高騰、気候変動などに悩まされることもあります。栽培講習会などで意識を高め、部会員の結束と組織の団結で「菊池すいか」ブランドの確立を目指してきました。

◆安武茂部会長は「品質と味にこだわり、地域に合った作型、品種の検討など部会員ひとり一人が熱心に向き合い、学び合い情報を共有してきた成果。若い後継者も育ってきている。高品質、安定出荷に向けて更に精進していきたい」と話しています。

令和7年産春スイカ 2年連続販売高9億円!!

農業を取り巻く環境は厳しい状況が続いていますが、令和7年産の春スイカは大玉で高単価なものを出荷することが出来ました。品種は大玉「春のだんらんRV」を中心に、「春のだんらんSP」と試験栽培から本格化する「金色羅皇(こんじきらおう)」。

小玉は「ひとりじめ7EX」を中心に「BONBONリッチ」の面積が増加傾向です。玉太りも良く、高糖度・高品質を維持し、秀品率も良く販売高を伸ばし、前年対比100.3%で9億7700万円を売り上げました。

令和8年産については「安定生産に向けた基本技術の徹底」「菊池すいかの出荷時期と商品性の向上」への取り組み事項も共有し、更なる「菊池すいか」ブランドの確立を目指します。

〈表彰者〉



大島さん



工藤さん



小山さん



KAFFS 木村さん

〈優秀農家表彰〉

大玉スイカ 糖度優秀者＝大島章
品質優秀者＝小山和彦、KAFFS

小玉スイカ 糖度優秀者＝工藤誠
品質優秀者＝安武茂、松岡幸信



秋の品種は「ひときわ」「羅皇ザスウィート」、10月1日から11月上旬まで出荷。10月限定販売の『ハロウィンスイカ』はJAタウンまたは合志市「クラッシーノ・マルシェ」で販売しています。